

## 県民体・6人制バレー

## 優勝へチーム一丸

奥州市

14日に三戸市で県民体バレーボール競技が開幕する。奥州市は2年連続準優勝。昨年は決勝で北上市にフルセットで敗れ、あと一步で頂点を逃した。「ことしこそ優勝を」。メンバーたちの猛練習が続いている。

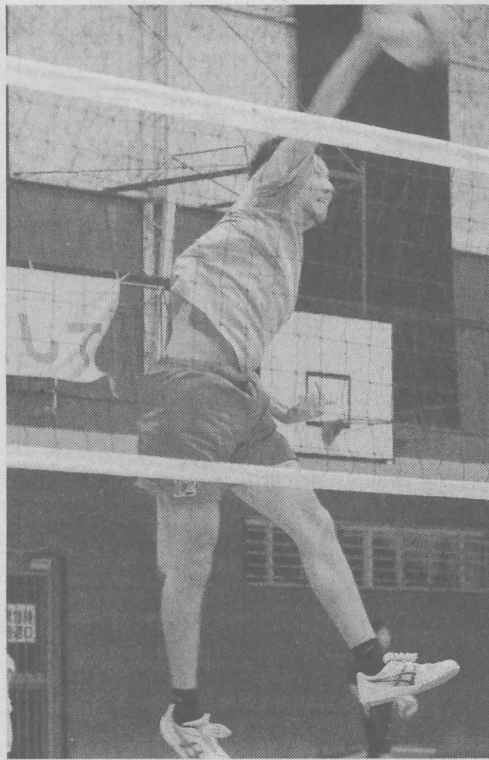
奥州市チームは江刺 早さにも対応できるコ  
一中出身メンバーが中  
心。ライト後藤一臣主  
将。レフト大嶋成士  
(20)ら強力な攻撃陣  
は県内トップクラス。

将。ことしからリベロ  
菅原友弘(19)が入り守  
りに厚みも加わった。  
今季は堅い守備から攻  
撃につなげるバレーに  
力を入れてきた。

現在の練習の中心は  
「サーブカットの徹  
底。セッターに球が  
入れば、バリエーショ  
ン豊富な攻撃が生じる  
チーム。昨年よりも数  
を増やした練習試合で

は高校の強豪校を相手  
に連勝。攻守バランス  
のとれたバレーが形に  
なりつつある。  
新メンバーのリベロ  
菅原は「若いチームな  
ので気を使うこともな  
くのびのびプレーでき  
る」とチームの雰囲気  
に笑顔。「チームのた  
めに自分ができること

をしたい。守りからリ  
ズムを」と活躍を誓  
う。  
普段の練習では、江  
刺バレーボールスポ少  
チームの面倒もみるメ  
ンバーたち。指導は将  
来につながる技術を丁  
寧に伝える。子どもた  
ちの目標として、県民  
体では結果で手本を示  
す覚悟だ。  
「若いチームで、ま  
だ荒いプレーがあるが  
昨年よりも確実にレベ  
ルアップしている」と  
後藤主将。十分な手応  
えをつかんでいる今  
季。2年連続準優勝の  
悔しさを今大会で晴ら  
す。



普段から一緒に練習する江刺スポ少の子どもたちに優勝を誓う奥州市チーム